



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社NextOne 上場取引所 東  
 コード番号 7094 URL <https://www.nex-tone.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 阿南 雅浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 史弘 (TEL) 03-5475-5029  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,361	11.2	325	46.7	324	36.2	210	26.9
2025年3月期第1四半期	4,819	115.7	221	3.1	238	10.6	165	13.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 222百万円(65.6%) 2025年3月期第1四半期 134百万円(△8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	21.55	—
2025年3月期第1四半期	17.00	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 前中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結会計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	15,112	5,937	32.9
2025年3月期	14,831	5,715	32.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 4,968百万円 2025年3月期 4,758百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	18.5	1,800	79.1	1,800	75.0	1,200	73.3	123.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	9,940,800株	2025年3月期	9,940,800株
2026年3月期1Q	180,686株	2025年3月期	180,563株
2026年3月期1Q	9,760,218株	2025年3月期1Q	9,748,190株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び説明動画の入手方法)

決算補足説明資料は2025年8月7日(木)にTDnetにて開示するとともに当社ウェブサイトに掲載いたします。また、決算説明動画を後日当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(企業結合等関係) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループが事業を展開する音楽関連市場につきまして、国際レコード産業連盟(IFPI)によると、2024年の世界の音楽市場の売上高は、定額制音楽配信サービス等のストリーミング配信の好調により、前年比104.8%の296億ドルと10年連続でプラス成長を続けています。また、国内においては一般社団法人日本レコード協会によると、音楽ソフト（オーディオレコード及び音楽ビデオ）の生産金額は前年比93%と音楽ビデオの売上が低調だったことにより減少した一方、音楽配信売上金額は前年比106%と、11年連続の増加となりました。

直近では音楽ソフト（オーディオレコード及び音楽ビデオ）の生産金額は前年同期比119%（2025年1月～6月）と好調に推移し、音楽配信売上金額は前年同期比102%（2025年1月～3月）と堅調に推移しております。音楽配信売上の内訳をみると、ダウンロードは前年同期比83%と減少傾向であり、定額制音楽配信サービス等のストリーミング配信は前年同期比104%と引き続き拡大しております。

このような状況の中、当社グループは2025年5月に公表した中期業績計画の達成に向け、以下の取り組みを実施いたしました。

- ・海外での著作権使用料徴収の精度向上
- ・取扱原盤に係る放送二次使用料の再分配業務の開始
- ・キャストサービスにおけるコーディネートやサポート体制の強化

また、著作権管理事業、デジタルコンテンツディストリビューション（DD）事業、音楽配信事業を中心に、継続的に以下の取り組みを行っております。

- ・公平・公正かつ透明性の高い著作権使用料の徴収・分配
- ・著作物利用に対する迅速かつ柔軟な対応
- ・各事業間シナジーを活かした複合的な提案による管理楽曲数及び取扱原盤数の増加
- ・楽曲・コンテンツの更なる利用促進
- ・権利者へのきめ細やかなサービスの提供
- ・DX推進やAI活用による業務効率化
- ・インフラコストを中心としたコスト削減

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は5,361百万円（前年同期比111.2%）と増収となり、利益面では、レコチョクグループにおける成長分野や新規事業への先行投資を継続しつつ、売上の増収効果及び固定費の削減が奏功し、営業利益は325百万円（前年同期比146.7%）、経常利益は324百万円（前年同期比136.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は210百万円（前年同期比126.9%）と増益となりました。

なお、前中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結会計期間の各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

セグメントごとの経営成績は、本日TDnetで開示した「2026年3月期 第1四半期決算説明資料」において記載しております。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて280百万円増加し、15,112百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加325百万円、売掛金の増加362百万円、固定資産の増加78百万円、その他流動資産の減少480百万円によるものであります。

現金及び預金の増加は、主に著作権管理事業及びDD事業の取引が順調に増加したことによるものであります。また、売掛金の増加は、主にキャスティング業務において有力なアーティストの大規模なライブビューイングを実施したことによるものであります。その他流動資産の減少は、主にDD事業において海外取引が増加していることに起因する消費税の還付及びレコチョクグループにおける本社移転に伴う敷金の返金による未収入金の減少によるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて58百万円増加し、9,175百万円となりました。これは主に、買掛金の増加262百万円、買掛金以外の流動負債の減少62百万円、固定負債の減少141百万円によるものであります。

買掛金の増加は、主にキャスティング業務における有力なアーティストの大規模なライブビューイングを実施したことにより、権利者に対するロイヤリティを計上したことによるものであります。買掛金以外の流動負債の減少の内訳は、主に著作権管理事業における徴収額の増加による権利者への分配額としての未払金の増加199百万円、役員賞与引当金及び賞与引当金の減少159百万円によるものであります。また、固定負債の減少は、主に取締役退任に伴う退職慰労金の支給による長期未払金の減少119百万円によるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて222百万円増加し、5,937百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加210百万円によるものであります。

利益剰余金の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,629	9,954
受取手形及び売掛金	1,744	2,107
仕掛品	12	6
貯蔵品	0	0
その他	886	406
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,272	12,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	191	175
工具、器具及び備品（純額）	41	67
有形固定資産合計	232	242
無形固定資産		
のれん	13	9
顧客関連資産	239	222
ソフトウェア	1,397	1,452
その他	139	176
無形固定資産合計	1,789	1,861
投資その他の資産		
繰延税金資産	235	237
差入保証金	258	253
その他	43	43
投資その他の資産合計	537	534
固定資産合計	2,559	2,638
資産合計	14,831	15,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,436	3,699
未払金	4,336	4,536
未払法人税等	310	111
賞与引当金	245	107
役員賞与引当金	35	13
その他	206	302
流動負債合計	8,570	8,771
固定負債		
長期末払金	283	164
退職給付に係る負債	67	48
その他	195	191
固定負債合計	545	403
負債合計	9,116	9,175
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,218	1,218
資本剰余金	758	758
利益剰余金	3,072	3,282
自己株式	△288	△289
株主資本合計	4,760	4,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	△2	△2
非支配株主持分	956	968
純資産合計	5,715	5,937
負債純資産合計	14,831	15,112

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,819	5,361
売上原価	3,638	4,034
売上総利益	1,181	1,326
販売費及び一般管理費	959	1,001
営業利益	221	325
営業外収益		
受取配当金	0	—
助成金収入	—	0
保険解約返戻金	15	—
還付加算金	—	0
その他	0	0
営業外収益合計	17	0
営業外費用		
為替差損	0	1
その他	—	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	238	324
特別損失		
投資有価証券評価損	5	—
特別損失合計	5	—
税金等調整前四半期純利益	232	324
法人税等	107	101
四半期純利益	125	222
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△40	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	165	210

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	125	222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△0
その他の包括利益合計	8	△0
四半期包括利益	134	222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	210
非支配株主に係る四半期包括利益	4	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	著作権 管理事業	DD事業	音楽配信 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	341	2,313	1,886	4,541	278	4,819	—	4,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43	73	—	116	106	222	△222	—
計	384	2,386	1,886	4,657	384	5,042	△222	4,819
セグメント利益又は 損失(△)	186	223	322	733	△121	611	△389	221

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャストイング事業、システム開発・保守運用事業、ソリューション事業、エージェント事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△389百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△384百万円及びセグメント間取引消去△5百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記のセグメント情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しを反映しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	著作権 管理事業	DD事業	音楽配信 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	353	2,502	1,926	4,781	579	5,361	—	5,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	70	—	111	129	241	△241	—
計	394	2,572	1,926	4,893	708	5,602	△241	5,361
セグメント利益又は 損失(△)	164	247	395	807	△69	737	△412	325

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャストイング事業、リユースプロダクト事業、システム開発・保守運用事業、ソリューション事業、エージェント事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△412百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△402百万円及びセグメント間取引消去△9百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	58百万円	74百万円
のれんの償却額	4百万円	4百万円
顧客関連資産償却額	17百万円	17百万円

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2023年9月28日に行った株式会社レコチョクとの企業結合について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行ってりましたが、前中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額262百万円は、会計処理の確定により262百万円減少し、顧客関連資産が342百万円、繰延税金負債が80百万円それぞれ増加しております。また、前第1四半期連結会計期間の四半期連結損益計算書は、販売費及び一般管理費が4百万円増加し、営業利益が4百万円減少、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ4百万円減少しております。